

夏ノ六裏

さてやかみの王子へわうじにとどまりていがきの
ほとりに咲たり花のほにおもしろ
かりければ

待へまちきつるやかみのさくら咲きけり

あらくおろすなみすの山風

承安元年へぜうあんがんねん六月朔日院熊野へついたちるんくまのへまいらせ
おはしましつゐでにすみよしへ御幸へみゆき

ありけり修行へしゆぎやうしまはりて二日かの宮へみや
にまいりてみれはすみの江へゑのつり殿へどのあ